

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

都道府県名	01 北海道
市区町村名	014231 南幌町
自治体区分	

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位数	本年の目標値	前年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
014231.南幌町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	・共働き世帯が増加しており、家庭における多様な体験活動が希薄している。	・放課後の時間を利用した、子ども達の多様な文化活動やスポーツ活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施 ・土日祝日に特別講師を招いて、学校や家庭では体験できないような教室の開催	・学校や家庭では体験することのできない文化及びスポーツ活動などの充実を図る。	事業の開催回数	72	回	101	61	3 様々な体験活動を効果的に実施することができたが、地域住民を巻き込んで、技能を有した人材を探すことが課題である。 改善点として近年、移住者が増えていることから、新たな人材を発掘する必要がある。
014231.南幌町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	・児童生徒の基礎学力及び学習意欲の低下 ・家庭学習習慣の希薄化	・学校や学習塾と連携し、外部講師による、公設学習塾の設置する。	・学校以外での学習機会の創出により学習意欲の向上を図り、家庭学習時間が増加する。	平日の1日当たりの家庭学習時間(1時間以上の割合)	63.2	%	69.5	39.3	2 開催については滞りなく実施することができ、基礎学力の向上に結び付けることができた一方で、家庭学習時間の増加へは結び付けることが出来ていないことが顕著である 改善点として家庭学習へ結び付ける方法を模索する必要がある。
014231.南幌町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	・学校カリキュラムの中で専門的スキルを必要とする授業における、指導者の不足	・専門的スキルを有した学校支援ボランティアを活用する。	・地域住民と学校が連携強化により、地域に根ざした学校教育体制の推進を図る。	当該授業に関わった学校支援ボランティアの人数	30	人	48	27	3 教材適所で地域住民を活用することができた。 現在、地域住民が参画する授業は決まったものになっており、新たな取組みの協議がなされていないのが課題である。 今後については地域学校協働本部にて協議を行うことで新たな取組みにつなげられるように改善を図る。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。